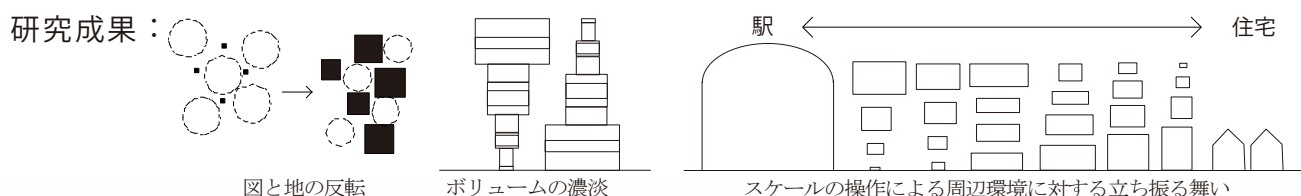


彩りの種

曾我部研究室 下岡由季

研究概要：住商混在エリアにおける空間の密度の操作による新しい暮らしの可能性を提案する。ボリュームを平面的にも断面的にも連続的に変化させる空間構成の手法を考えた。周辺環境に対する立ち振る舞いは駅側は大きく住宅側は小さくなるようなスケールの操作をした。空間の性質が公共私柔らかな関係性で混ざり合う商業と住宅のコンプレックスとなることを期待している。

研究目的：建築のはじまりには何か種のようなものがあると思います。
私は種を育ててゆくように、建築を構成する上での可能性を追求してきました。



苦労した点や感想など：断面的な操作のスタディに時間がかかりました。
模型の着彩・組み立てに苦戦しました。ヘルプに感謝しています。
自分の想いを僅かでも共感して頂けたことに喜びを感じています。